

主語+be動詞 +形容詞 +that~	① I am sure that these ideas help many people. (私はこれらの考えが、多くの人々を助けると確信しています。)
---------------------------	--

① 「きっと~だ」「~してうれしい」⇒【主語+be動詞+形容詞+that~】
心理を表す形容詞や感情を表す形容詞の後ろにthat~を続けると、
「きっと~だ」「~してうれしい(悲しい)」という意味になる。
このthatは省略することが可能なので、注意が必要である。

We can hold it easily because it has a special shape.
これは特別な形をしているため、私たちは楽に持つことができます。
becauseは「…だから」という理由を表す接続詞。

I'm glad that I could find other examples in our city.
私は、私たちの市で他の例を見つけることができたことをうれしく思っています。
①の説明を参考にする。

If you're in a wheelchair, or pulling heavy luggage, you can use the ramp.
もしあなたが車いすに乗っていたり、もしくは重い荷物をひいていたいたりしたら、そのスロープを利用できます。
pulling以下はyou'reに繋がって現在進行形になっており、なおかつin a wheelchairと並列になっている。

It also helps the elderly and people with babies and small children.
それはお年寄りと、赤ちゃんや小さい子どもを連れた人々の助けにもなります。
the elderlyとpeople~childrenまでが動詞helpの目的語になっている。

I think these ideas are wonderful.
私はこれらの考えは素晴らしいと思います。
thinkのあとに接続詞thatが省略されている。

- ① これは特別な形をしているため、私たちは楽に持つことができます。
- ② 私は、私たちの市で他の例を見つけることができたことをうれしく思っています。
- ③ もしあなたが車いすに乗っていたり、もしくは重い荷物をひいていたいたりしたら、そのスロープを利用できます。
- ④ それはお年寄りと、赤ちゃんや小さい子どもを連れた人々の助けにもなります。
- ⑤ 私はこれらの考えは素晴らしいと思います。